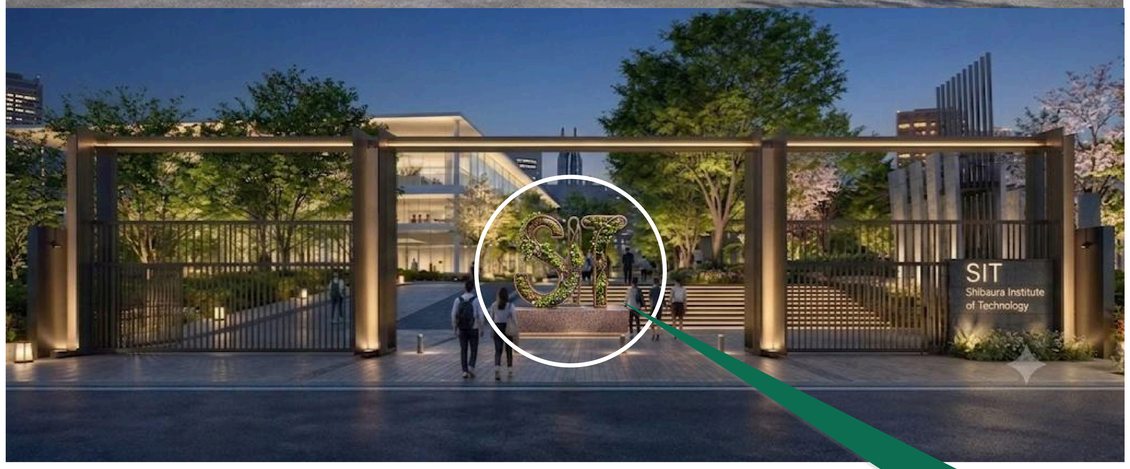
Campus Gate ＆ C Zone

メンバー：　CY25147 次田有里、CY25128 小林真緒

貯水池（左）

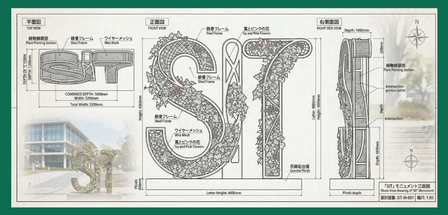
貯水池を、緑豊かな美しい庭園へと再生します。
傾斜を利用した階段ベンチは、四季折々の植栽や自然を眺める場所となります。読書や歓談など、外でのアクティビティを心地よく包み込みます。
雨天時には、雨水をコントロールするという本来の役割を果たしながら、晴れた日には人々が自然と集まるようなコミュニティの拠点を目指します。



キャンパスゲート

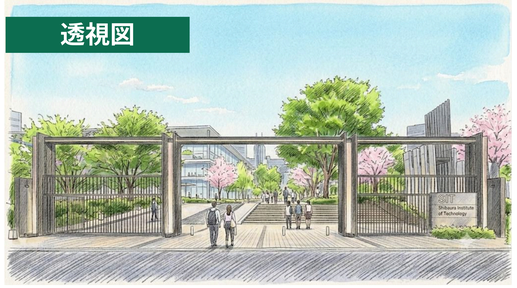
貯水池（右）

白砂利の紋様と石組みが水の流れを表現する「枯山水」をイメージしました。雨天時には、本来の役割である調整池として雨水貯留を行います。
貯水池のすり鉢状の地形を利用し、斜面に沿って木製の階段ベンチを配置しました。どの位置からでも眼下に広がる美しい和の風景を眺めることができ、読書や歓談の場として心地よい開放感を演出します。
周囲のモダンな校舎や構造物と調和するよう、シャープな階段ベンチと、有機的な石・苔の配置を対比させ、現代的かつスタイリッシュな空間に仕上げています。

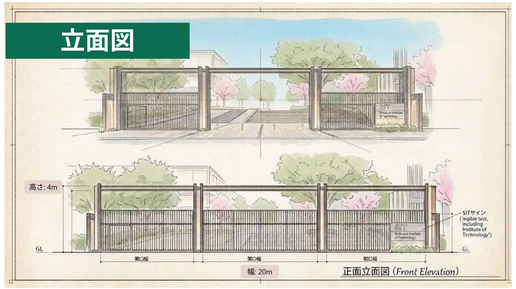


「人工的でシャープな美しさ」と、「有機的でしなやかな生命力」を融合させた、芝浦工業大学の新たなシンボルです。大学とともに日々、そして何年もかけて成長し続ける植物その姿は、本学で学ぶ学生たちが未来に向かって変化し、個性を伸ばしていく姿そのものを体現しています。

透視図



立面図



内容説明・作成意図

キャンパスゲート
都会的な豊洲キャンパスとは異なる、自然の緑に囲まれた広々としたキャンパス。そのおおらかな空気感に寄り添い、大学へ足を踏み入れる瞬間の「ワクワクとした期待感」と「心地よさ」を生み出す、一体的な景観設計を行いました。
キャンパスゲートには、工業大学らしい堅実でシャープな金属の構造の高さ4mのスタイリッシュな横長フレームを採用し、車両の進入にもスムーズに対応する開放的なデザインでありながら、夜には温かみのあるライトアップがゲートと道を照らします。
このゲートはキャンパスへの入り口であると同時に、奥へと続く風景を美しく切り取るフレームとして機能します。ゲートの外から覗き見たとき、その中央に佇むアーティスティックなSITシンボルが象徴的に浮かび上がり、これから始まる学問や出会いへの「わくわく感」や期待感を生み出します。

SITシンボル
金属の持つシャープなデザインと、フレームを満たす生き生きとした植栽が融合した生きたシンボル。

貯水池
雨水をコントロールする調整池としての機能を持ちながら、晴れた日には人々が自然と集まり、憩うための美しい水辺の庭園へと再生。豊かな緑と木製ベンチが、キャンパスに「心地よい開放感」と「対話の場」を提供します。